

新年の挨拶



東朋会理事長
田畑 友孝

新年明けましておめでとう御座います。この度、高萩前理事長の後を受け、昨年の10月から理事長を担務することになりました。宜しく願います。

福東OB会は今年23年目を迎えられると聞いております。長年の活動に感謝致します。東朋会は今年17年目を迎えます。東朋会にご存じのように超高齢化しています。東朋会の発足時は「40年間は運営しましょう」との計画だったそうですが、昨年16年目を迎えて流動資産は東朋会発足時から約1/3に減少しています。会員の減少と資金の減少を考えますと、現

金だけでは10年持たないと考えられます。

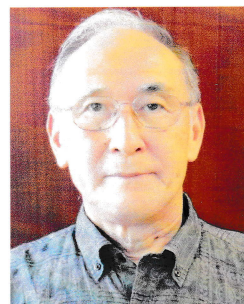
現金が無くなったら終わりにするのか、固定資産の現金化をして延命するのか、その場合の拠点はどこに置くのか、東朋会の終活を本格的に考える時期がきたと考えています。

昨年の10月から新役員で2年間の運営が始まりました。福東OB会の齋藤会長にも理事への仲間入りをお願いし、快く引き受けて頂きました。この2年間で将来の道筋を決めた

いと考えております。理事会の中で議論しますが、皆さんのお知恵も頂戴しながら進めていきます。なお、今年の干支は丙午、丙午の年は「勢いとエネルギーに満ちて、活動的になる」とも言われております。東朋会設立の趣旨、「人生老後よければすべてよし！」を目標に、評議員一同、理事一同、監事一同、一皮むけて新たな挑戦と発展となるよう老体にムチを打

つて頑張ります。皆さんも、東朋会の運営に対し、今まで以上に協力頂きますよう、よろしくお願い致します。

福東OB会
第22回総会に参加して



東朋会専務理事
島津 晃

福東OB会の皆様、新年あけましておめでとうございます。昨年の第22回定期総会にお招き頂きました、一般財団法人東朋会で専務理事の役を担っております島津でございます。

一昨年に続き三度目の総会出席となった第22回定期総会では、出席回数を重ねることに連れ、故郷に帰ってきたような懐かしい感じがします。それは、福島の方の話される言

葉のイントネーションがすごく優しく心に響いてくるものがあり、叱られても褒められてゐるかの如く感じるからでしょう。

総会の運営や出席者の皆さんは少しの疑問も明確になるまで議論を尽くして納得されるまでやり取りしている姿が感じられました。

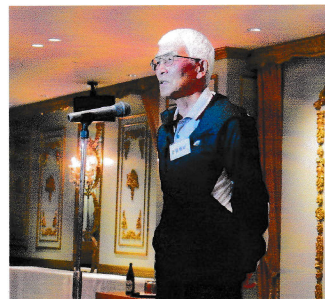
総会後のエキシビジョンでは千葉一則さんのトランペット演奏が見事で、聞き入ったことも印象に残っています。新しい年を迎え、抱負やら格言をお伝えすることが求められますが、紙面をお借りして、昨年の東朋会役員選挙に際し、福東OB会会長の齋藤勝則さんを理事にご推薦して頂いたことに御礼を申し上げます。

私たちの事業運営につきましましては、高齢化の対応、会員さんの参加意識の向上を目指すことです。福東OB会さんとの関係は、今後ますます方向性等共有し、将来のことを共に

議論してゆきたいと考えております。

以上を持ちまして、新年のご挨拶また定期総会への出席の感想とさせていただきます。

東朋会定期総会参加



福東OB会会長
齋藤 勝則

昨年10月15日(水)横浜にある「ホテルプラム」で開催された2025年度東朋会総会に出席しました。(第15回)

今回は役員改選がありました。高萩理事長が退任され、田畑友孝副理事長が新理事長に就任されました。また、福東OB会から齋藤が理事に立候補して承認され新理事として活動していきます。

総会では報告事項、議事すべて承認可決されました。そして、田畑新理事長が抱負の挨拶をされ新体制がスタートしました。総会終了後懇親会が行われ、福東OB会としての挨拶をさせて頂き、久しぶりにお会いした方々と食事をしながら楽しく歓談できました。今後東朋会の理事会などの活動に出席、参加していきます。

